

テクニカルデータシート TI-A12

セーフティキャッチャー KRPシリーズ (DGUV認証品)

プレッシャーバージョン

セーフティキャッチャーの概要に関しては、「テクニカルインフォメーション TI-A10」をご覧ください。
本製品の取り付けなどに関する情報は、「オペレーティングマニュアル BA-A12」をご覧ください。

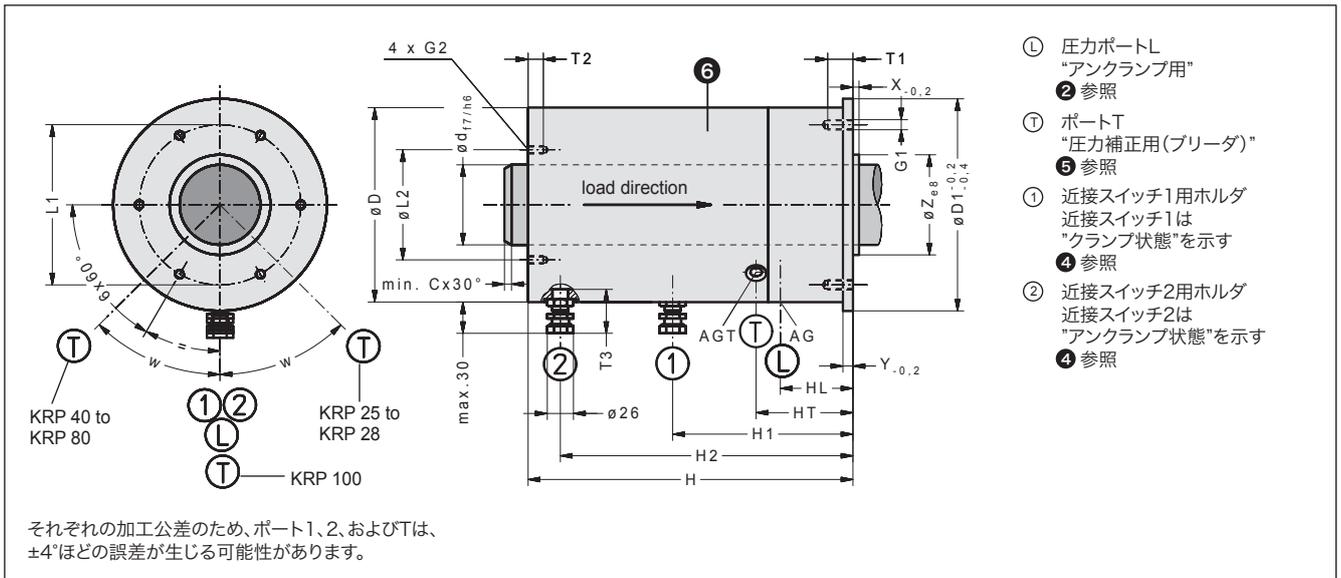


図1：セーフティキャッチャーKRP 概要図

- ① 圧力ポートL
"アンクランプ用"
- ② 参照
- ① ポートT
"圧力補正用(プリーダ)"
- ⑤ 参照
- ① 近接スイッチ1用ホルダ
近接スイッチ1は
"クランプ状態"を示す
- ④ 参照
- ② 近接スイッチ2用ホルダ
近接スイッチ2は
"アンクランプ状態"を示す
- ④ 参照

Type	ID no.	d	C	M	D	D1	H	Y	Z	X	L1	G1	T1	L2	G2	T2	V	T3	AG	AGT	HL	HT	H1	H2	w	Wt.
	(order no.)	mm	mm	kN	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm		mm	mm		mm	cm ³	mm			mm	mm	mm	mm		kg
KRP 25	KR 025 31	25	4	10	71	81	152	5	40	3	56	M6	15	64	M5	12	20	32	G1/8	G1/8	36	84	84	130	90°	4.5
KRP 28	KR 028 31	28	4	15	82	92	169	5	45	3	65	M8	15	73	M5	12	30	32	G1/8	G1/8	39	88	88	145	90°	5.5
KRP 40	KR 040 31	40	4	33	106	123	211	8	52	3	80	M8	20	56	M6	12	50	34	G1/4	G1/8	47	102	167	125	50°	10
KRP 56	KR 056 31	56	4	67	140	156	262	8	70	3	115	M10	25	75	M6	12	80	45	G1/4	G1/8	52	118	166	122	30°	20
KRP 80	KR 080 31	80	4	133	194	212	322	10	100	3	160	M10	25	110	M8	16	150	45	G1/4	G1/4	54	125	128	176	30°	58
KRP 100	KR 100 21	100	5	220	240	-	365	-	120	7	160	M12	24	135	M8	16	340	34	G3/8	G1/4	22	122	285	235	0°	91

表記された数値は、予告なく変更する場合があります。

① Mは、セーフティキャッチャーの許容負荷を表します。取り付けられる軸の表面がドライ、もしくは油圧作動油が付着している場合、保持力(制動力)は $2 \times M$ を下回ることはなく、 $3.5 \times M$ を超えることはありません。

② アンクランプ状態を維持するために必要な圧力は、4barです。スプリングベース(テクニカルデータシートTI-A21参照)を導入した場合、アンクランプするために必要な圧力は、6barです(テクニカルデータシートTI-A20)。許容作動圧力は、10barです。

③ 空圧作動容積

④ 近接スイッチホルダは、スタンダードな近接スイッチ(M12x1 検知距離2mm 埋め込み型 出力:NOC / KRP25およびKRP28をご使用になる場合 M8x1 検知距離1.5mm 埋め込み型 出力:NOC)をご使用になれます。

表のT3は、近接スイッチホルダ上面から、計測位置までの深さを示します。

近接スイッチホルダは、工場出荷時に予めT3の値になるよう取り付けら

れています。近接スイッチを取り付ける際は、近接スイッチホルダ内部のストッパに当たる位置で固定すれば、そのまま使用することができます。近接スイッチは付属されていませんが、オプションのアクセサリとして、本体と一緒にご購入いただくことができます。

KRP40、56、100については、近接スイッチ1と2の取り付け位置が他のサイズとは逆ですので、ご注意ください。

⑤ クランプ・アンクランプ作動時に生じる、ユニット内部のエアの増減は、ポートTを通して補正されます。ポートTにはエアフィルタ(金色の六角ボルトのようなもの)が装着されており、ダスト等がポートTから製品内部へ入らない様に保護しています。

もし、ポートTから湿気や侵食性のある流体が発生した場合は、フィルタプラグの代わりに空気環境の良いエリアまで配管してください。

⑥ ハウジングは黒色のプライマ処理、前端面は、防錆ワックス処理されています。